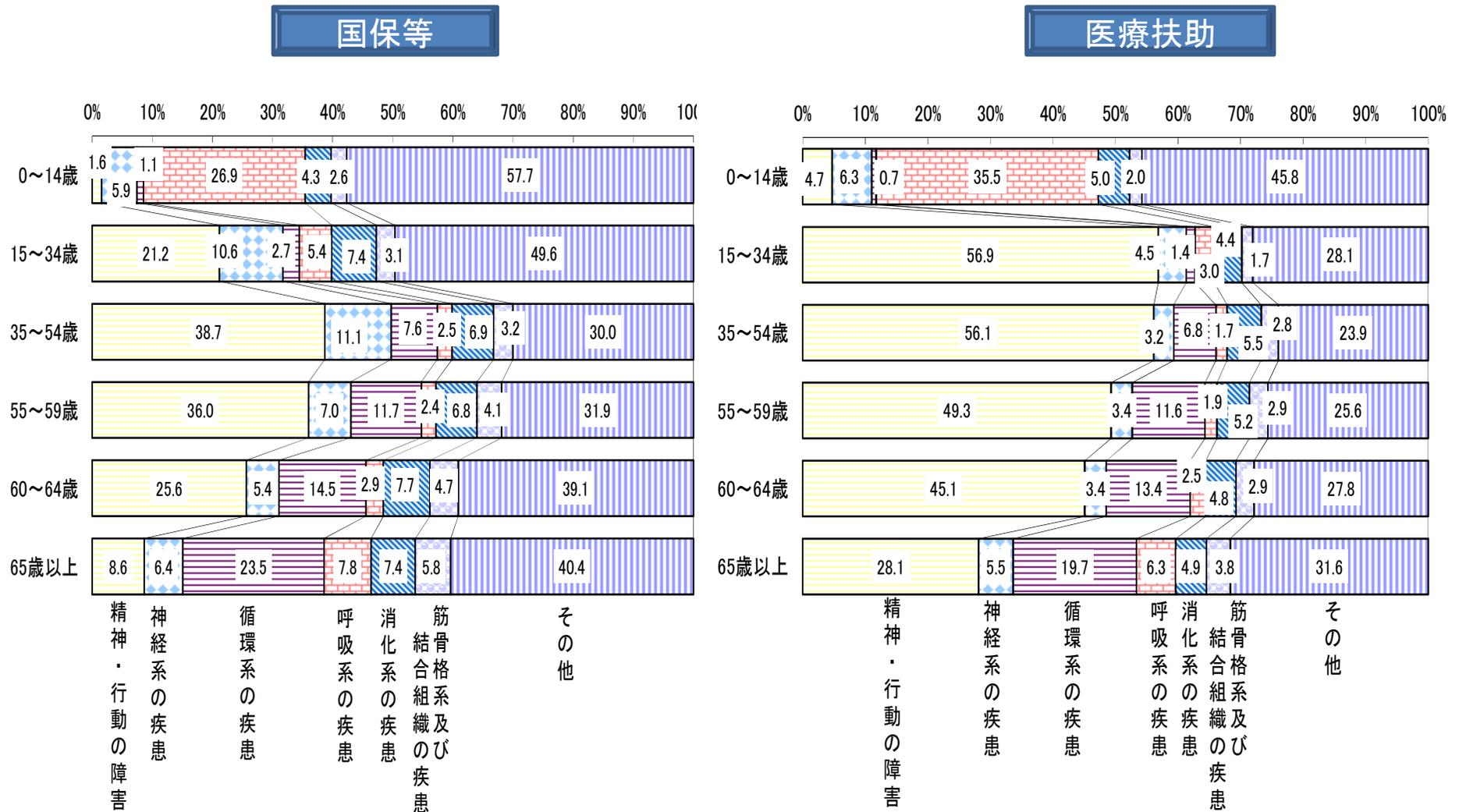


「生活保護受給者の健康管理の在り方に関する研究会」
第1回において依頼のあった資料

傷病分類・年齢階級別 医科(入院)診療件数の状況(国保等との比較)

医科(入院)における傷病分類・年齢階級別の構成割合を国保等と比較すると、15歳以上では、精神・行動の障害の割合が高くなっている。

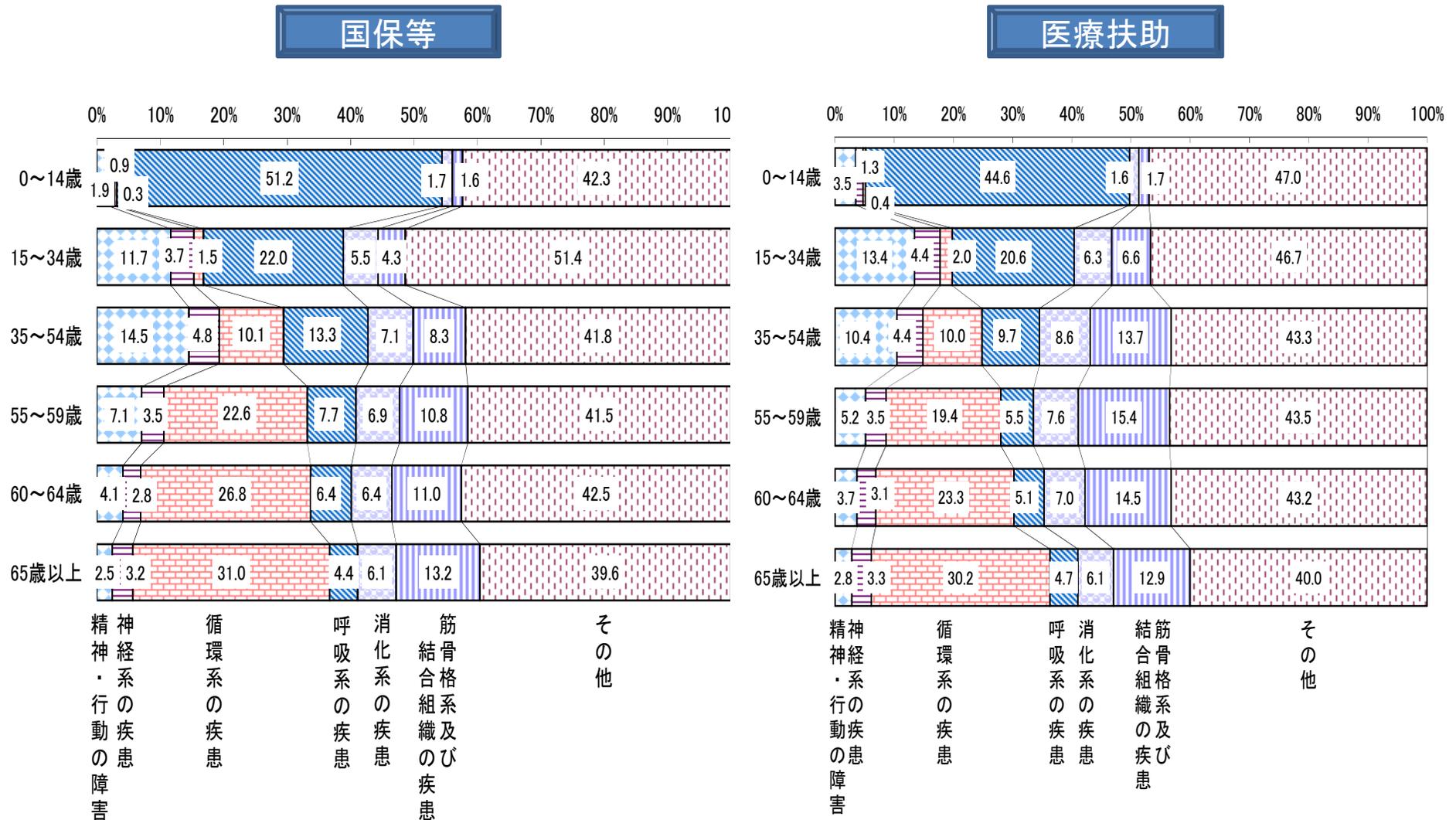


(資料) 医療扶助実態調査(平成24年6月基金審査分)、医療給付実態調査(平成24年度(平成24年4月~平成25年3月)診療分)

※ 国民健康保険等は、市町村国保と後期高齢者医療制度を合計したものである。

傷病分類・年齢階級別 医科(入院外)診療件数の状況(国保等との比較)

医科(入院外)における傷病分類・年齢階級別の構成割合を国保等と比較すると、大きな差異は見られない。



(資料) 医療扶助実態調査(平成24年6月基金審査分)、医療給付実態調査(平成24年度(平成24年4月~平成25年3月)診療分)

医療費データを分析・活用している自治体の例

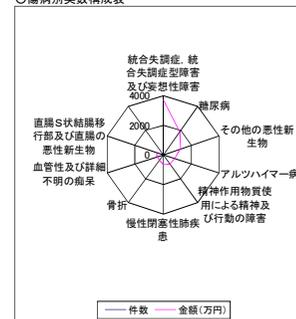
電子レセプトシステムを活用し、以下のデータを出力可能。

(例)

○検索条件

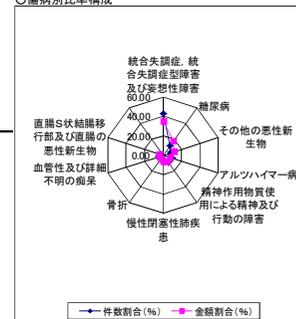
診療年月	平 25年03月 ~ 平 26年02月	基金処理年月	
点数表コード	医療入院/DPC		
保険者種別	一般・本人/一般・未就学/三歳/一般・家族/一般・高齢者8割/一般・高齢者7割/一般・老健8割/一般・老健7割/特選・本人/特選・未就学/三歳/特選・家族/特選・高齢者8割/特選・高齢者7割/特選・老健8割/特		
医療機関	地域	事業所	
職種			
性別	指定なし	年齢	
点数			

○傷病別実数構成表



傷病名	件数	金額(万円)
統合失調症、統合失調症空疎音及び妄想性障害	109	3680
糖尿病	31	1901
その他の悪性新生物	21	1280
アルツハイマー病	26	826
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	23	784
慢性閉塞性肺疾患	18	675
骨折	10	435
血管性及び詳細不明の脳卒中	12	420
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	5	419
合計	255	10420

○傷病別比率構成



傷病名	件数割合(%)	金額割合(%)
統合失調症、統合失調症空疎音及び妄想性障害	42.75	35.32
糖尿病	12.16	18.24
その他の悪性新生物	8.24	12.28
アルツハイマー病	10.20	7.93
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	9.02	7.52
慢性閉塞性肺疾患	7.06	6.48
骨折	3.92	4.18
血管性及び詳細不明の脳卒中	4.71	4.03
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	1.96	4.03
合計	100.00	100.00

件数では糖尿病・高血圧性疾患が多い
金額では精神疾患(長期入院13名)・悪性新生物(単価が高額)が多い
悪性新生物の治療費支払困難で申請するケースもあり

- 「傷病毎実数・割合表」・・・特定傷病の総医療費における実数・割合表
- 「時系列表」・・・特定傷病の時系列表(月ごとの件数の推移)
- 「医療費時系列推移表」・・・特定傷病の医療費の時系列表(月ごとの件数の推移)
- 「時間外・休日一覧表」・・・特定傷病の時間外・休日受診者(件数、点数、比率)

北海道旭川市

- 各診療月ごとに、レセプトデータから以下のデータを抽出し、課内で共有している。
 - ・ 疾病1件あたり医療費上位30位
 - ・ 医療機関別医療費上位200件
 - ・ 年齢区分別・男女別医療費
 - ・ 入院期間別の医療費(一般・精神) 等

佐賀県佐賀市

- 入院・外来別、主傷病名別などの件数と医療費を集計し、医療扶助の傾向の把握。
 - 分析情報の活用状況
 - ・ 福祉事務所の運営方針の参考資料とする。
 - ・ ケースワーカーに対して情報を提供し、訪問の際の指導に役立てるようにしている。
- (例:生活習慣病による受診が続く被保護者への生活指導、自立支援医療の対象となる見込がある者の把握等)

島根県大田市

- 半年ごとに入院、外来別で、傷病別の医療費データを抽出。
- ケースワーカーは保健師(市町村保健部門所属)と情報を共有し連携のうえ受診、療養指導(通院日数や治療内容の見直し等)を行う。

島根県美郷町

- 個人ごとの年間医療費を集計し、増減の理由を分析しながら療養指導の参考としている。
- データの抽出はシステムにより行い、医療社会指導員(保健師、看護師等の資格保有者)が個別の分析を行う仕組みとしている。

健康管理支援事業を行っている自治体の取組効果の例

「福祉事務所等における保健師の効果的な活動・活用事例」(平成25年10月)より抜粋

自治体名	事業の効果																												
東京都 中央区	<ul style="list-style-type: none"> ○ 費用対効果の評価は難しいものの、重症化予防の効果があったことは確か。 ○ 健康問題はタイムリーに支援を行うことが重要であるが、保健師がいることにより、フットワーク良く支援が行えた。 ○ ケースワーカーの負担が軽減されるとともに、保健師の役割についてケースワーカーの理解が深まった。 																												
神奈川県 相模原市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就労支援等とは異なり、健康管理、保健指導を短期的に数値で把握することは困難であるが、継続した通院が行えるようになった、自分で服薬管理ができるようになった、健康に留意するようになった等、個々の変化が見られた。 ○ ケースワーカーの負担軽減や、生活保護受給者の生活の質の向上に健康面から貢献した。 <p>平成23年度支援実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支援件数</th> <th>改善件数</th> <th>改善割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診指導</td> <td>556</td> <td>380</td> <td>68.3%</td> </tr> <tr> <td>服薬指導</td> <td>525</td> <td>317</td> <td>60.4%</td> </tr> <tr> <td>日常生活指導</td> <td>933</td> <td>405</td> <td>43.4%</td> </tr> <tr> <td>関係機関との連絡調整</td> <td>249</td> <td>218</td> <td>87.6%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>171</td> <td>20</td> <td>11.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,434</td> <td>1,340</td> <td>55.1%</td> </tr> </tbody> </table>		支援件数	改善件数	改善割合	受診指導	556	380	68.3%	服薬指導	525	317	60.4%	日常生活指導	933	405	43.4%	関係機関との連絡調整	249	218	87.6%	その他	171	20	11.7%	計	2,434	1,340	55.1%
	支援件数	改善件数	改善割合																										
受診指導	556	380	68.3%																										
服薬指導	525	317	60.4%																										
日常生活指導	933	405	43.4%																										
関係機関との連絡調整	249	218	87.6%																										
その他	171	20	11.7%																										
計	2,434	1,340	55.1%																										
大阪府 門真市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年1回、生活保護受給全世帯へ健康診査の受診啓発チラシを郵送し、受診件数が増加。 (月平均9件→月平均41件) ○ 保健師を配置することにより、タイムリーに相談や同行訪問が行えた。 ○ 頻回受診や重複受診に対する医療費適正化効果が見られた。 																												
福岡県 宗像市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病状が改善したケースが13件、生活保護廃止につながったケースが2件あった。(死亡、転出を除く) ○ ケースワーカーが訪問しても家の中に入れないケース等があったが、健康管理支援員(保健師)が健康面から関わることにより、面接ができるようになったケース等もあった。 																												

生活保護関係調査一覧等

調査の名称	調査内容	調査の対象		対象選定の 方法	調査の周期 及び時期
		地域的範囲	属性的範囲		
被保護者調査 【年次調査】 基礎調査・個別調査 【月次調査】	年齢、性別、加算件数、最低生活費認定額、収入認定額等 人員数、世帯数、開廃止の理由別世帯数等	全 国	被保護世帯 約160万世帯	全 数	年次調査 毎 年 7月31日現在 月次調査 毎 月
医療扶助実態調査	年齢、件数、日数、決定点数、傷病分類、後発医薬品割合等	全 国	医療扶助受給者	6月基金審査分 診療報酬明細書及び 調剤報酬明細書	毎 年 7 月
社会保障生計調査	世帯構成、就労状況、収支項目及び金額	9ブロック 14都道府県 4指定都市 9中核（注）	被保護世帯 約1,110世帯	抽 出	年 度 4月から翌年 3月まで

（注）社会保障生計調査の調査対象自治体は、北海道及び東京都を除き、原則として2年毎に調査地域を交代することとしている。

※ 平成26年度においては、沖縄ブロックの調査対象が無いため、調査の対象が9ブロックとなっている。

生活保護受給者の家計における食費の割合はどれくらいか。

平成24年度社会保障生計調査の結果によると、以下のとおり。

	消費支出総額	うち食料費（割合）
2人以上の世帯（平均）	168,218円	51,399円（30.6%）
単身世帯（平均）	104,883円	30,971円（29.5%）